

塩尻商工会議所平成29年度経営発達支援計画実施状況に係る事業評価について

1. 評価点数 70点
2. ご意見

「1. 経営発達支援事業」の5つのうち「I. 地域の経済動向調査事業」に関しては4項目中2項目で目標達成、「IV. 創業・第二創業（経営革新）支援」では3項目中2項目を目標達成で、これらは28年度と同様である。また「V. 小規模事業者販路開拓支援」では6項目中3項目と28年度（6項目中2項目）を上回っている。これら三つの支援事業は過半数以上の項目で目標を達成している。一方「II. 経営分析・需要動向調査・事業計画策定支援」では全5項目とも目標に到達していない（28年度は2項目）。また「III. 事業実施支援」は5項目中0項目の達成状況である（28年度も同様）。これらの低迷は実施・運営上の問題というよりも、従来の支援内容にニーズがなくなってきた、既に補助事業が終わっているなど事業計画上の問題とみられ、会員企業の実態に沿った計画の見直しが今後の課題となる。

「2. 地域経済の活性化に資する取り組み」の「I. 地域経済活性化事業」ではセミナー開催店舗・受講者人数とも28年度同様、ほぼ目標達成している。「3. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取り組み」では「I. 他機関との情報交換」、「II. 経営指導員等の資質向上等」も積極的に行われている。

以上、経営発達支援事業における目標達成は平成28年度と同様とみてとれることから前年度同様の70点と評価した。

松本大学 総合経営学部 教授 兼村 智也

1. 評価点数 65点

本事業を契機に経営指導員の皆様のご努力下、市内での起業の気運情勢や、中小企業の販路拡大、商店街の活性化など一定の成果を出す事ができたものと思います。ただ、小規模事業者持続化補助金に直接係る項目では、採択割合の低下などから、事業者からの申請が予想外に低迷したことから目標未達が目立った。こうした事を総合的に判断するなら評点は「65点」相当と判断します。

2. ご意見

未達の部分を中心にコメントをします。

II. 経営分析・需要動向調査・事業計画策定支援では、1. 小規模事業者持続化補助金の採択が少ないという実情から、2の事業者の申請が低迷し、セミナー受講や計画作成も減少した。そのためIII.事業実施支援での1.事業実施への支援においても1者にとどまっている。4. 事業計画再策定支援も、そもそもの申請企業が低迷したことから同様に1者となっている。また、3. 採択事業所の巡回も想定された1社あたり3回の訪問が、実際には1回程度で済んだことから10回に止まった。

小規模事業者持続化補助金の申請に向けた事業計画作成を目指す企業の掘り起しを狙ったセミナーのテーマが「IT導入活用経営力強化セミナー」と時宜に叶ったものであることを考えると、市内事業者のITに関する意識の低さが懸念されます。攻めのIT活用など、事業の目的に叶うよう、事業者の啓蒙や掘り起しがさらに求められるように思います。

V. 小規模事業者販路開拓支援では、県中小企業振興センター主催の展示会について今年度も「会議所に期待していない」意向が想像できるが、今後の会議所事業のPRの方法・効果につき引き続き検討が必要だと思えます。4. 東京オリンピックへ向けての売り込み先についても、昨年に引き続き0件というのは気になることです。他の0件の項目と併せ目標が妥当かどうかの検討もお願いしたい。

II、III、Vの取り組みにつき実績0件が散見され、計画（Plan）自体に問題があると考えざるを得ない部分が見受けられました。今回の事業を最初のDoと考え、Check—Actionとつなげることで、次に企画する諸事業は地域の小規模事業者の実情に合った、成果がでる計画となることを望みます。そうした活動において、「起業後3年で70%が廃業」という厳しい現状を打破できる商工会議所の伴走型支援が実現していくものと思えます。

長野経済研究所 調査部長 小澤 吉則